



きらら としょかん

新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 252

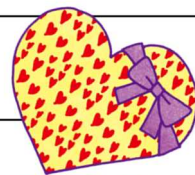
R5. 2月号

いま一度 感染防止対策をお願いします

- ◆ なるべくマスクを着用しましょう
- ◆ 本を触る前後に、こまめな手洗い・手指の消毒をしましょう
- ◆ 会話の際は可能な限り真正面をさけましょう
- ◆ 周囲の人との距離に気をつけましょう
- ◆ 来館前に体調を確認しましょう
(発熱や倦怠感がある場合は来館せず、
返却本や予約本がある場合は電話でご相談ください)



2月のおはなし会



2/4 (土)
14:00~14:20

おには そと

幼児~小学生



2/14 (火)
10:30~10:50

親子で遊びましょう

赤ちゃん~



親子タイム

2/11 (土)・2/25 (土)
9:00~9:55
未就学児とその保護者

開館前の図書館で
声を出して本を読みながら
楽しんでみませんか?

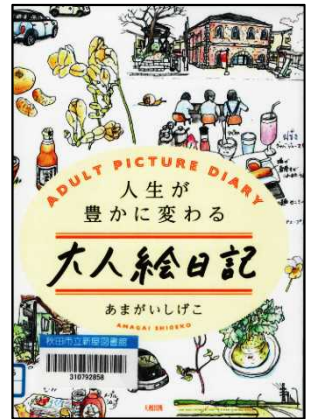
新刊案内

人生が豊かに変わる 大人絵日記

あまがい しげこ／著

大和出版 請求記号 B726.50 (絵日記)

日常の出来事、見逃しそうな小さなことを、さらりと書き留められたら楽しいですね。絵が下手、描けない、そんな苦手意識がなくなる大人の絵日記講座の開講です。秋田市在住の著者により、牛島の街角、仲小路の店先が、バルセロナやウィーンと同じ目線で紹介されています。

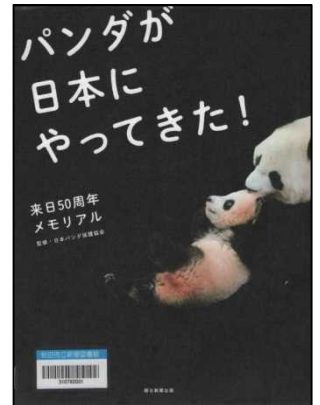


パンダが日本にやってきた！ 来日50周年メモリアル

日本パンダ保護協会／監修

朝日新聞出版 請求記号 489.57 (パンダ)

写真を見ているだけで癒されるパンダ。来日50周年の歴史を報道写真とニュース記事、関係者へのインタビューで振り返ります。愛らしいパンダの様子とは別に、来日当時、飼育経験のない飼育員の苦労は並大抵のものではなかったようです。



18歳から100歳までの日本の未来を考える17のキーワード

樋口 裕一／著

学研プラス 請求記号 302.1 (社会)

社会問題を把握することは、現代と未来を生き抜く力になります。本書では、経済やAIなど現代の事柄を17のトピックに分け、その背景と関連事項をイチから学び直します。またそれらの問題の賛成・反対意見も紹介。20年、30年先の日本を考えるきっかけにもなりそうです。



どく 毒もみのすきな署長さん

宮沢 賢治／作 山村 浩二／絵

三起商行 請求記号 91ミ (絵本) ※小学4年生くらいから

毒を使って魚をとってはいけない。プハラ国では、これを取り締まるのが警察の大事な役目。町の新しい署長さんは、ぴんとした赤ひげ、銀の入れ歯、どこかカワウソに似た人。子どもたちは、あの署長さん何か怪しいぞとうわさし始めます…。宮沢賢治の「毒」のあるおはなし。



図書館員（村田 隆一）のおすすめ本

書名

図解でわかるカーボンニュートラル

著者名

エネルギー総合工学研究所／編著

出版社

技術評論社

所蔵

新屋、明德

請求記号 501.6 (カーボンニュートラル)



能代港、秋田港で日本初の大型洋上風力発電事業として、計33基の風車が相次いで運転を開始しました。これは、COP21・パリ協定で合意された「平均気温の上昇を2.0度（できれば1.5度）に抑える」ための再生可能エネルギーの活用です。日本では、2020年10月に、本県出身の菅首相（当時）が「2050年までにカーボンニュートラル（以下CN）」の実現を

宣言し、脱炭素社会の実現に向け大きく舵が切られました。

本書は、豊かな地球を次世代へ引き継ぐために必要なCNの技術と実践方法について書かれたもので、近い未来の私たちが実現すべき社会が紹介されています。9つのコラムや取り組み事例など、わかりやすいところから読み始めて、一緒にCNを考えてみませんか。

図書館員（清水 博文）のおすすめ本

書名

福永祐一 父からの贈りもの
祐一は父・洋一から何を学んだか

著者名

大場 勝一／著

出版社

ベストセラーズ

所蔵

新屋

請求記号 788 (競馬)



昨年12月、ある記事がスポーツ紙を賑わせました。「JRA福永祐一騎手、調教師試験に合格。来年2月で騎手引退」

彼は、かつて「天才」と呼ばれた名騎手・福永洋一を父に持ち、日本ダービー3勝など中央競馬歴代4位の勝ち鞍を誇るトップジョッキーです。昨年もG1レースを2勝するなど、今まさに絶頂期である彼が、なぜ引退を決意し、調教師という新たな道を歩もうとするのでしょうか。

本書は、彼がデビューした年に書かれたもの

ですが、まえがきで、なぜ騎手になったのかと疑問を投げかけています。落馬事故で重傷を負い、騎手生命を絶たれた父・洋一の姿を、彼は幼い頃から見えてきて、何を思い、父と同じ騎手になる道を選んだのでしょうか。

著者は、執筆時点で、その後の彼の活躍は当然知らないでしょうし、ましてや彼が調教師へ転身するとは思ってもいなかったでしょう。しかし、本のタイトルにある「父からの贈りもの」は、確実に調教師・福永祐一へ引き継がれていくはずで

記事になったお酒の話題あれこれ…お酒で動物愛護…

2月17日に兵庫県西宮市の辰馬本家酒造株式会社から販売される「黒松白鹿^{くろまつはくしか} ネコダスケ 特別純米 山田錦」(すでに予約終了)。ラベルには、猫たちが楽しそうに戯れている様子が描かれています。販売価格は猫にちなみ2,222円(税込)です。

この商品は、野良猫の殺処分ゼロを目指し開発されました。購入すると、1本あたり222(にやにやにや)円が西宮市の「動物愛護基金」に寄附される仕組みです。ラベルは、この活動に賛同した人気イラストレーター・オキエイコさんが手がけています。

猫好きの人におすすめしたい商品ですね。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

2023年1月6日
SAKETIMES

今、あなたへ…甘い宝石・チョコレート…



2月14日はバレンタインデー。日本では長らく「女性から男性へチョコレートを贈る行事」として親しまれてきましたが、ここ最近では仲の良い友達同士で交換しあったり、自分のためにちょっと高価なものを購入したり…と「おいしいチョコレートを楽しむ行事」に変化しているようです。

ということで、チョコレートが飛び交う2月にぴったりの、チョコレートをよく知るための本をご紹介します。

『ひみつのたからチョコラテ』(平山 暉彦/作、福音館書店)は、発明家のおじさんと男の子が、おじさんの発明した“タイムトラベルボンボン”で16世紀の南アメリカへとタイムスリップしてしまうおはなし。ふたりの冒険にハラハラドキドキしながら、楽しくチョコレートの歴史を学びましょう!

『Chocolat et cacao』(土屋 公二/著、ネコ・パブリッシング)は、ショコラティエである著者の土屋さんが、チョコレートの歴史や加工の方法、チョコレートを使ったお菓子のレシピを解説しています。おいしそうな写真も多数掲載されており、ページをめくるだけでも楽しめます。



図書館員のひとりごと

今年も正月に餅を食べました。我が家の餅は伯母の家でついたものです。

さすがに今は昔のように臼と杵というわけではなく機械でついたものですが、味は抜群。市販されているものとはひと味違います。

その味の違いが一番よく分かるのが雑煮にしたときです。少し焼き目をつけた餅を汁の中で伸ばしながら食べると最高に幸せな気分になります。

正月には縁起をかついで餅を食べると聞きます。今年も公私とも縁起の良い一年になるように祈っています。読者の皆さんにとっても良い一年でありますように。(飯野)

先月7日、秋田市文化創造館で昔遊びを体験するワークショップが開かれ、私たちも「出張図書館」として参加しました。ダルマ落としをカキーン!と見事に飛ばす子、回したコマにひもを絡めて巻き上げる技を披露し、美大の学生さんに教えてくれた子…。子どもは遊びの天才だなあと感心しました。

同じ日、新屋図書館ではおはなし会後に、「世界一かわいいカルタ大会」が行われました!参加者は、推定2歳~6歳の未就学の子どもたち。小さい子も、真剣な表情で札を取っていました。同じ札に手が伸びたときの、じゃんけんが特にかわいかったです。(南都)